

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2012年12月21日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障の改善を！医師・看護師・介護職員増やせ！

医労連 総選挙直後のロングラン行動 1334筆の署名あつまる

12月19日、道医労連などが、札幌地下歩行空間で「医師・看護師・介護職員増やせ！ロングラン宣伝・署名行動」を行いました。10時から18時までの行動に、のべ40人が参加し、1334筆の署名が集まりました。

署名に応じた方の中には、「今日退院してきたが、看護師さんがとても忙しいそうだった」、通院している方からも「忙しいそうで声がかげづらい」と言う方も。子育てのために離職して再就職を考えている方は「復職のためのセミナーが長期間でなかなか受講できないし、仕事もきつい」と話す方もいました。

また、札幌以外の方からは、「病院がない」「足りない」「必要な診療科がない」などの声も寄せられました。地域医療を守り充実させる上でも、技術者の養成と労働条件の改善が求められています。



北海道医療計画などのパブコメ実施中 道民の切実な声、願いを道へ届けましょう！

来年度からの北海道の医療供給体制などの医療計画などの素案が出され、1月13日までパブリックコメントが行われています。地域医療の医療体制はもとより、医師、看護師などの体制も盛り込まれています。意見に応募しましょう。

道庁HPをご覧ください (<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sum/keikaku.htm>)

また、地域別意見交換会も行われていますので、参加して要望を届けましょう。

＜意見交換会日程＞

12月27日	札幌市
1月9日	網走市
1月11日	旭川市

「生活の見通しがたたない」 仕事がない！低賃金、退職勧奨も 低年金

54人57件の相談 12.20 雇用・暮らし・SOSネット街頭 相談会



12月20日、雇用・暮らし・SOSネット北海道は、札幌地下歩行空間で、街頭相談会を行いました。生活相談や労働相談をはじめ54人から57件の相談があり、「生活の見通しがたたない」など深刻な暮らしや労働の実態が明らかになりました。

「生活相談」では、生活保護申請を準備する方が4人いました。6人の生活保護利用者から、厳しい就労指導や車の処分などの相談もありました。「心の相談」では、厳しい就労指導で具合が悪くなったという方や「以前、生活保護を申請したが役所から暴言を浴びせられ、もう申請はできない」と悩む方もいました。

「労働相談」は6件で、「65歳になり定年退職を言われている。求職中の30代の息子と同居しているが、公営住宅も申し込んでいるが入れない。低年金では暮らせない」と今後の生活についての相談する女性。「非正規の仕事で最賃719円、ぎりぎりの生活。退職勧奨を受けている」という20代女性。「仕事のミスを理由に退職勧奨を受けている」という20代男性も。「朝8時から夜7時以降まで働いているが、職場では勤務表は9時～17時まで書くようにいわれている」などサービス残業を強要されているなど、労基法違反の実態も相談されています。相談のほかに、血圧測定コーナーには38人が訪れました。

12月24日 クリスマス宣伝

社会保障の拡充！消費税増税やめろ！

12時15分～45分 紀伊国屋札幌本店付近 サンタさんも参加します。

